

水俣と福島が出会うとき

紛争変容・平和構築学の視点で考える

お話し：石原 明子先生

熊本大学大学院人文社会科学研究部 准教授（紛争変容・平和構築学）。

京都大学大学院、厚生労働省研究所を経て2008年から現職。米国のカリフォルニア大学バークレー校を経て、イースタンメノナイト大学院で「修復的正義の父」と呼ばれたハワード・ゼアの元で学び、日本社会や環境災害・公害における修復的正義について実践と研究を続ける。

司会：中村 平（広島大学比較日本文化学プロジェクト研究センター長）

約70年前に発生した水俣病公害事件と約10年前の東京電力福島第一原発事故。両地域では、大規模な環境汚染や健康被害のリスクのみならず、地域社会の分断にも直面してきました。本講演では、両地域が体験している問題を平和学の中で位置づけて考え、また、紛争変容・平和構築学（修復的正義）の知見を用いた地域分断の変容支援の取り組み—水俣と福島の交流—についても触れたいと思います。

2022年3月17日（木）

14:00-16:00

オンライン開催（申し込み必要・無料）

■申し込み 以下リンクまたは右のQRコードから

<https://forms.gle/oTWZDLj7bb4eIyPb7>

*申込締切：3月14日（月）17時

■お問い合わせ hista1209@gmail.com（教務補佐）

■主催 広島大学比較日本文化学プロジェクト研究センター

■共催 広島大学大学院人間社会科学研究科 ひろしま「日本研究」イニシアティブ

広島大学大学院人間社会科学研究科 ひろしま「平和研究」イニシアティブ

